



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1259回例会

～世界理解月間～

2006年2月2日(木) 晴 第27回

司会：(吉木洋二会場委員)
体操：ストレッチング(堀 慎治会場委員)
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲストスピーカー：愛知県歯科医師会
DNA保存事業委員会委員長 田島 伸也氏
(船渡昭人親睦活動委員)

▶ 会長挨拶

守谷巖樹会長

耐震強度偽装事件が解決していませんが、今度はホテルの不法改造発覚。どの事件もトップインタビューは聞くに堪えないものです。“原価削減、経済性追求がなぜ悪い”とか“捕まったら仕方がないが、そんなに悪いかなあ…”言語道断とはこの事でしょうか。私は、元建設関係の仕事に携わっておりました関係で、構造物の強度の計算基準を生み出すまでには、どのくらい技術者や学者の長年の努力と金がかかっているか、しかもその基準がまだまだ不完全なものであるかということをお話させていただきます。



皆様ご存じの明石大橋は世界に誇る吊り橋です。この立派な橋もタコマ橋の落下事故の経験を生かしてたどり着いたものです。タコマ橋は1940年、米国ワシントン州にかけられたスパン853メートルの橋です。当然、当時の世界一の技術を持って設計、施工されました。しかし、同年7月に開通してわずか4ヶ月、風速毎秒19メートルの風によって落下してしまっただけです。それではこの時の落下の様子をお話します。実は、落下の一部始終が16ミリにとられていたのです。

開通当時から風が吹くと橋が設計計算以上の揺れが出るので、早々に模型による風洞実験を始めていたのです。その研究スタッフが、風が強くなったとの連絡を受け、現場に駆けつけ16ミリを回したのです。最初、中央スパンに全体で9個の山谷が出来、上下に蛇行を始めました。その時の振動周期は毎分36サイクルでした。突如振動モードが変化し大きなねじれ振動を始め中央スパン中央に節を持つ対称なねじれ振動になりました。その時の振動周期は毎分14サイクルでした。時間経過と共にスパン中央部の補強材が疲労を起こし破壊に至ったのです。この16ミリの記録がその後の振動工学や空気力学の発展を促した訳です。落下後設計の見直しを行い、トラス補強により立派に完成されました。

明石大橋は、この様にして得られた理論をベースに40メートルの模型を使い、風洞実験に莫大な金を掛けて得た理論で設計されたのです。これだけの最新技術を持ってしても自然現象に対しては絶対と言えるかどうか、これは神のみぞ知る、まだまだ未知の多い世界であると思います。ちなみに1995年の阪神・淡路大震災で全長3910メートルの大橋が1メートル伸びたそうです。

▶ 出席報告

落合 諭出席委員長

会員73名 出席57名 (出席計算人数55名)

出席率81.82%

1月26日は補填により 90.91%
1月19日は補填により 96.36%
1月12日は補填により 98.18%

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・本日例会終了後、13時35分から第5回クラブアッセンブリー並びに第8回理事会を9階「ことぶきの間」にて行います。
- ・2006～07年度、地区協議会出欠締め切りは本日となっております。事務手続きの都合上、お帰りまでお願いします。

▶ 2月誕生日おめでとう

田中 政雄君 宇佐美貞夫君 守谷 巖樹君
亀井 直人君 近藤 洋輔君 宗宮 信賢君
馬場 将嘉君 松井 善則君 中川啓二郎君
増田 盛英君

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋南		2/22(水)※	3/1(水)	
名古屋北		2/24(金)		
名古屋みなと	2/17(金)			
名古屋東南	2/15(水)		3/1(水)	
名古屋中			2/27(月)	
名古屋名東				3/7(火)
名古屋名北			3/1(水)	
名古屋名南	2/14(火)◇		2/28(火)◇	
名古屋昭和		2/20(月)		
名古屋西南				3/9(木)
名古屋空港	2/13(月)※			
尾張中央	2/15(水)	2/22(水)※		
豊山城北			2/28(火)	
名古屋葵		2/23(木)※		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

▶ ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス副委員長

- ・本日卓話をさせていただきます。よろしくお祈りします。
- ・愛知県歯科医師会 DNA保管事業委員会委員長 田島 伸也氏
- ・1月23日は妻の誕生日でした。また、2月4日は私の誕生日です。
- 宇佐美貞夫君
- ・2月1日は66回目の私の誕生日です。
- 田中 政雄君
- ・今月は誕生月です。
- 馬場 将嘉君

- ・誕生月です。大台に乗ると1年が早いです。 **守谷 巖樹君**
- ・1月28日、次男が結婚しました。高村さん、野崎さん、本多さん、稲葉さん、有難うございました。会長、岡村さん、岩根さんより祝電を頂きました。 **大島 浩嗣君**
- ・先日は大島さんのご子息、ご結婚おめでとうございます。大変素晴らしいロケーションでの結婚式で、感動しました。有難うございました。 **稲葉 徹君**
- ・2月の月曜日、4回、朝9時35分より東海ラジオで皮膚病の話します。 **田中 隆義君**
- ・2月13日はBirthdayです。 **亀井 直人君**
- ・地区出向者の皆さん、ご苦労様です。 **遠山 堯郎君**
- ・この月の節分祭に福を呼びましょう。 **小林 幸男君**
- ・1月31日、eタックスにて納税を行いました。初めてのことに少々時間がかかりました。 **鈴木 幹雄君**
- ・ISO14000がようやく取れました。 **景山 和明君**
- ・本日の卓話は、愛知県歯科医師会DNA保管事業委員会委員長 田島伸也氏です。よろしくお願ひします。 **佐藤 一郎君**
- ・1月22日より1月28日まで、オーストラリアのパースへ旅行してきました。真夏のオーストラリアでしたので、寒さが一段と身にしみます。 **野崎 洋二君**

合わせによって意味を成しており、それを遺伝子といいます。その遺伝子の組み合わせによりタンパク質が作られ、膨大な数が細胞の中に含まれております。ただ、その膨大な数の細胞の中で、機能しているのは10%といわれております。あとはジャンクDNAといわれていますがまだ解明されていないので、実はとても重要な役割を果たしているDNAがあるのかも知れません。ガンなどは、抑制する遺伝子と発症させる遺伝子があり、発症させる遺伝子が何らかの作用で働き出すとガンになります。何もなければガンの遺伝子を持っていても発症しません。

人間の違いであります、人間は99.9%同じです。ただ人種によって体格や目の色、髪の色が違うのは、残りの0.1%でその違いが発現してくるのです。ましてや親子・兄弟はさらに違いが少なくなります。その少ない違いを見つけて鑑定するのがDNA鑑定であり、さらにDNA診断になり、ゆくゆくは遺伝子治療と結びついていくだろうと思います。

DNAはどういった所から取れるのかと申しますと、白血球、口腔粘膜細胞が一般的であります、血液から採取するには針で刺すなどの痛みを伴います。口腔粘膜細胞は採取するのに痛みを伴いませんのでこちらが主流となっております。他には髪の毛です。髪の毛の多い少ないは関係なく、毛根が付いていると確実です。毛根がなくても親子鑑定程度のことは可能です。

今後30年の間に50%の確率で、東南海地震が起こると言われています。飛行機事故や、テロなど、私たちの身にいつ、何が起こるか分かりません。ワールド・トレードセンターの事件のようなことが日本で起きないとも限りません。イラクではジャーナリストの橋田さんが亡くなりました。この際、遺体の損傷が激しかったのですが、保存されていたDNAによって息子さんと親子鑑定をし、本人確認をしたということを知っております。サマワに派遣されております自衛隊も、同じシステムでDNAを保管してから現地に赴いております。近年起きましたスマトラ沖地震では、死者が30万人以上にのぼり、今でも10万人単位で身元の確認されない遺体があります。身元の確認が出来ないため、茶毘に付すことが出来ずにいます。もしこのDNAを保管・管理するシステムがあれば、遺体を一定期間保管の後、茶毘に付し、残された遺骨は保管してあるDNAで身元を証明するという事で、遺体の確認はすでに出てくるはずですが、この間起きたカトリナ・ハリケーンでもそうですが、本人のDNAを探すのにヘアブラシや歯ブラシ、病院に保管されていた血液などを探しましたが、そうしている間に遺体が流されてしまったという事だそうです。この場合でもDNAを保管するシステムがあれば、遺体の一部で本人と確認することが出来ます。そして確認をすることによって人間の尊厳が守られ、残されたご遺族に生命保険などが早急に支払われることになります。

DNAというのは究極の個人情報です。DNAを取り扱う上で個人情報保護というのが重要なポイントとなってきます。倫理委員会も作り、外部の方々に審査、監査をして頂いております。個人情報は絶対に漏れないようにDNA本体と申込書は別便で送られてきます。それが一緒になった時に不正使用、悪用の可能性が出てきます。個人情報はインターネットに接続されていないコンピューターで、アクセス出来る人間を限り、パスワードも頻繁に変更し保管をします。DNAそのものは警備会社のもので、耐火金庫に入れられ24時間警備、保管されます。

皆様もリスクマネジメントの一環として導入をご検討頂きたいと思っております。瑞穂RCの会員の中でも、吉木先生が認定医師となっております。なにかありました際には、吉木先生か愛知県歯科医師会までお問い合わせを頂きたいと思っております。

▶ 委嘱状伝達

2006～07年度第2760地区新世代副委員長に委嘱された遠山堯郎君に、守谷会長より委嘱状が伝達されました。



▶ 卓話

愛知県歯科医師会 DNA保管事業委員会 委員長 田島伸也氏

▶ 「DNAの採取と保管について」

最近では「DNA」という単語を新聞やテレビで見かける機会が多いと思います。私がDNAに携わるきっかけは、裁判所の命令で、親子鑑定のDNAを採取する事を個人的に始めた事からです。その後、DNAを保管しておき、有事の際に役立つのではないかと、現在では愛知県歯科医師会を主体として、DNAの採取・保管する事業を行っております。



DNA、遺伝子というのはどういうことか、概略をご説明いたします。人の細胞は約60兆個あります。それぞれの細胞の中には核というものがあり、その中に染色体というものがあります。そこにDNA(塩基)が入っています。それぞれの染色体の中に常染色体が22有り、X,Yで表される正染色体の中にDNAが入っています。DNAは辞書で例えると中に書かれた文字にあたり、その組み

▶ 今週卓話

2月9日(木)

会員卓話：森 真佐雄君

テーマ：「半寿(81歳)の経験と回顧」

▶ 次週卓話

2月16日(木)

講師：R財団国際親善文化研修奨学生 小川博子様

テーマ：「R財団国際親善文化研修奨学生帰国報告」